

日本臨床皮膚科医会岡山県支部 教育セミナー(第236回より岡山地方会と共催)

開催日	演題名	講師
第215回地方会(1998年9月12日)	皮膚科より見た今次診療報酬改定と医療保険抜本改革	土岐尚親(とき皮膚科医院, 日本臨床皮膚科医学会副会長)
第218回地方会(1999年9月11日)	皮膚科医からみた介護保険	木下敬介(木下皮膚科医院、日本臨床皮膚科医学会理事)
第221回地方会(2000年9月9日)	褥瘡ケアにおける看護の視点	政田美喜(香川労災看護部エンテロストマールセラピスト)
第224回地方会(2001年9月8日)	日本臨床皮膚科医学会岡山県部会より 医療政策が決まるまで	海野耕太郎(岡山市保健福祉局)
第227回地方会(2002年9月14日)	これからの医療とその対応	青柳 俊(日本医師会副会長)
第230回地方会(2003年9月13日)		
第233回地方会(2004年9月18日)	岡山市におけるSTDの現状と対策	中瀬克己(岡山保健所長)
第236回地方会(2005年9月3日)	皮膚疾患に対する光治療・レーザー治療を中心に	川田 暁(近畿大)
第239回地方会(2006年9月2日)	SLEの皮膚症状からなにがわかるか	衛藤 光(聖路加国際病院)
第242回地方会(2007年9月15日)	ここまでわかった・Behçet病	金子史男(福島県立医科大学名誉教授、(財)脳神経疾患研究所附属皮膚免疫・アレルギー疾患研究所)
第245回地方会(2008年9月13日)	化学物質と健康被害	井口泰泉(NINS:岡崎統合バイオサイエンスセンター)
第248回地方会(2009年9月12日(土))	新しい横断的医療部門としての遺伝子診療部ー現状と課題ー	野村文夫(千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学教授、附属病院検査部長・遺伝子診療部)
第251回地方会(2010年9月18日(土))	皮膚外用療法 私見	西岡 清(東京医科歯科大学名誉教授・横浜市立みなと赤十字病院名誉院長)
第254回地方会(2011年9月4日(日))	蕁麻疹の素朴な疑問にEBMで答える	佐藤伸一(東京大学)
第257回地方会(2012年9月9日(日))	色素性病変のバリエーション	田中 勝(東京女子医科大学東医療センター皮膚科教授)
第260回地方会(2013年9月15日(日))	皮膚の存在意義とそのケア	田上八朗(東北大学名誉教授)
第263回地方会(2014年9月21日(日))	脱毛症の病態から考える治療の有効性向上のための戦略	大山 学(慶應義塾大学医学部皮膚科学教室准教授)
第266回地方会(2015年9月6日(日))	乾癬治療はPASI90を達成することによりーいろいろな治療を駆使すれば達成できるー	根本 治(札幌皮膚科クリニック)
第269回地方会(2016年9月4日(日))	乾癬治療の3T	森田明理(名古屋市立大学 加齢環境皮膚科学)
第272回地方会(2017年9月3日(日))	遺伝性皮膚疾患研究のアップデート	下村 裕(山口大学大学院医学系研究科 皮膚科学講座)
第275回地方会(2018年9月9日(日))	新たな非鎮静性抗ヒスタミン薬治療の幕開け	谷内一彦(東北大学大学院医学系研究科機能薬理学)
第278回地方会(2019年9月15日(日))	皮膚科医として知っておきたい診療の知識～抗ヒスタミン薬の使い方から強皮症まで～	藤本 学(大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻情報統合医学講座皮膚科学)
第281回地方会(2020年9月6日)	皮膚科診療における血管炎の診断から治療まで	川上民裕(東北医科薬科大学医学部皮膚科学)
第284回地方会(2021年9月12日)	皮膚科医が知っておきたい自己炎症性疾患～蕁麻疹から家族性地中海熱まで～	藤本徳毅(滋賀医科大学皮膚科)
第287回地方会(2022年9月4日)	食物アレルギーとアレルギー性蕁麻疹	猪又直子(昭和大学医学部皮膚科学講座主任教授)
第290回地方会(2023年9月3日)	乾癬と膠原病診療から見えてくる皮膚科医の楽しみ	山口由衣(横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学主任教授)